

Y08a **AURORA 4D PROJECT(1)：計画概要と異分野連携研究の分析**

玉澤春史，早川尚志，河村聡人，磯部洋明（京都大学），片岡龍峰（極地研究所），岩橋清美（国文学研究資料館），宮原ひろ子（武蔵野美術大学），他 AURORA 4D PROJECT メンバー

人類は古くからオーロラなどの天の異変を観察して記録に残し，現代ではデジタルカメラで撮影したオーロラ写真を SNS に掲載している．オーロラの世界的な拡大は，一方で宇宙では人工衛星の故障や衛星通信の異常，地上では誘導電流による大規模停電を引き起こしうる巨大磁気嵐の発生を示し、宇宙インフラや電力ネットワークに依存する現代社会を脅かす「宇宙災害」として，近年関心が高まっている．この「宇宙災害」へ多角的にアプローチするために，総研大の学融合研究「オーロラ4Dプロジェクト」がスタート，人文系と自然科学系の研究者が連携し，古文献に記載されたオーロラなどの記録を精査，自然科学データと比較して整備・活用すると同時に，世界初となる市民参加型宇宙環境モニターの実現や，未知のオーロラ観光名所の開拓などを通して，現代社会における先端科学と市民の新たな関係を築いていくことを目的としている．歴史学など人文科学と地球物理・太陽物理といった自然科学との異分野連携研究であり，どちらか一方だけでは推進できない研究である．近接分野との共同研究よりも研究文化の背景が違い，互いの領域について積極的に質問・意見交換することで進められる．また，研究当事者間だけではなく，関連学会の研究者や事務担当者など，様々な面において「異分野交流」する機会があり，自らの属する研究領域を相対的に見ることができる．本講演ではプロジェクトの経緯，概要および初期成果を紹介するとともに，異分野連携研究の現場から得られる具体的な事例を分析，異分野への普及効果などについて論じる．